

レジメン名	IRIS
対象疾患	治癒切除不能な進行・再発 結腸・直腸癌
1クールの日数	28日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	エスワン	S-1	下記参照		po		d1夕～d15朝
2	イリノテカン	IRI	125	mg/m ²	div	90分	d1,15
3							
4							
5							
6							
補足	エスワンの1日量…1.25m ² 未満：80mg 1.25m ² 以上1.5m ² 未満：100mg 1.5m ² 以上：120mg (最高75mg/回、最低40mg/回)						

催吐リスク	中等度
前投薬	パロノセトロン注0.75mg、デカドロン注9.9mg
減量規定	エスワン、イリノテカン：下痢はGrade2で休薬し、回復後に減量して投与を再開。 ※6ホモ接合体、28ホモ接合体、6及び28ダブルヘテロ接合体のUGT1A1遺伝子多型を有する場合、イリノテカンの開始用量100mg/m ² へ減量を考慮。 エスワン：腎障害（Ccr60以上80未満；必要に応じて1段階減量、Ccr30以上60未満；1段階以上の減量、30～40未満は2段階減量が望ましい） イリノテカン：白血球数3000/mm ³ 未満または血小板数100,000/mm ³ 未満の場合には、投与を中止または延期。
主な副作用	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎、味覚異常、下痢、色素沈着、倦怠感、流涙、脱毛
参考文献	適正使用ガイド（ティーエスワン、カンプト） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会） 安全性情報 TS-1+CPT-11併用療法 FIRIS試験の成績から-特に下痢について- 坂田優/監修 大鵬 2017年
その他	

投与スケジュール

Day (1,15)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 パロノセトロン注バッグ0.75mg デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg 1日1回	1本 1本 2本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液500mL イリノテカン注 1日1回	1本 125mg/m ²	90分